

# 心の原風景 —我が母校—

## 佐渡市立浦川小学校

浦川小学校は、明治10年、第九学区公立第八番小学白瀬校附属浦川校として創立。今年で136年目となります。

浦川漁港を見下ろす高台にある校舎からは、春にはカモメとウグイスの鳴き声と一緒に聞こえます。そんな自然豊かな環境の中で、今年度、全校児童10名が、仲良しのびのびと学校生活を送っています。



ワカメ栽培についての学習

低学年の野菜作りや地域探検、音楽の雅楽体験、総合的な学習の時間やワカメ栽培や地域に伝わる伝説調べな

ど、身近な地域の方を先生として学習を進めることで、子どもたちは、目を輝かせていきいきと活動に取り組んでいます。



シュノーケルを使った海水泳

また、春の山菜採りや全校つり大会、シュノーケルを使っての海水泳、PTA主催のサマーキャンプなど地域の自然の中で活動することで、ふるさとの自然の豊かさも実感しています。

さらには、お年寄りの方へ文化祭の招待状をお届けする活動、年賀状の交流、お年寄りの方と直接触れ合う活動（浦川サロン訪問）など、地域のお年寄りの方との交流も行っています。地域の方とたつぷり触れ合い、地域の自然を満喫し、子どもたちは、まっすぐにのびのびと成長しています。

当校は、平成25年春、136年の歴史に幕を閉じます。閉校までの残り1年、子どもたちにふるさとの素晴らしさを実感させ、ふるさとに誇りを持たせることで、豊かでたくましい心をもつ子どもの育成に取り組んでいきます。

◆教育委員会学校教育課  
☎23-4898

## ジオパーク、推進日記

13

### 市民講座の受講生が糸魚川ジオパークを見学！

今回は、市民に広がるジオパーク活動を報告します。第2期ジオパーク市民講座は今年の1月に修了しました。残りの講義が少なくなるにつれて受講生たちの間から「このまま講座が終わってしまうのは寂しい。」という声があがりました。

そんな中、受講生の中から生まれた発起人が「1年間の講座の記念に、受講生を募って先進地である糸魚川ジオパークへ行こう。」と1泊2日の見学旅行を企画しました。

実施日となった3月中旬、糸魚川にはまだまだ雪が残っており残念ながら糸魚川―静岡構造線やヒスイ峽を観察することはできませんでした。しかし、糸魚川ジオパークの拠点施設となる「フオツサマグナムミュージアム」で参加者たちは、素晴らしい展示資料を一つ一つじっくりと鑑賞して楽しい時間を過ごしました。

2日目は、糸魚川の認定ガイドと学芸員による案内で「弁天岩ジオサイト」という糸魚川の海に面した見学地を回りました。弁天岩のほか、能生漁港や白山神社などの見学地も回りました。能生漁港

は、一見、ジオパークの要素が見当たらないように思いましたが、実はカニの水揚げと海底の地形とが密接に関係があると説明してくれました。また、ガイドの方は糸魚川の地形と佐渡の地形で関連している点をわかりやすく解説してくださったので、参加者たちも興味をもって説明に耳を傾けていました。積極的に質問する場面も見られ、充実した見学旅行となりました。

ジオパークは、実物を現場で見るのが基本です。気の合う仲間と住み慣れた地域や他の地域に出かけてみましょう。見慣れた場所でも視点を変えてみたり、下調べをして行くとなんか発見があるかもしれません。小さな発見の積み重ねもジオパークです。さあ、みなさんも始めてみませんか？ジオパーク！

◆教育委員会社会教育課 ジオパーク推進室（両津郷土博物館内）  
☎23-2101



弁天岩ジオサイトを見学する参加者たち

※電話番号が4月19日から変わりました！